

コヨット! 通信 No.20

2018年2月28日発行

2月号

日本生協連
組合員活動部

2月と3月の未就学児企画には、6歳児の応募がたくさんきます。
4月から小学生になるので、これが最後とばかりに応募されているようです。
今後のコヨット! では、参加費は発生しますが原発事故時に最も
外で遊ぶことができなかった小学生向けの企画を増やしていく計画です。
お母さんにそのこととお話しすると安心した表情になります。



そり遊びとゆきだるまづくり

～2/10-11 リゾート・イン・ほなり～

11家族、子どもたち18名が参加しました。

一日目は雪とそり遊びを行いました。風もなく、雪遊びには好天気。あたたかい日が続き表面が溶けていたので、スタートから勢いよく滑れるようにホテルの係員に斜面を整備していただきました。そのおかげで、りだけでなくスノーサーフィンボードも長い距離を滑ることができました。子どもたちだけでなくお母さん、お父さんと二人乗り、三人乗りで楽しむ姿も見られました。以前参加して雪を怖がっていた2歳の女の子が、お兄ちゃんと面白がって何度も夢中でそり滑りをしていました。お母さんも自然の中で成長した姿を見て嬉しそうでした。



【参加者アンケートから】

「原発事故後1か月も経たないうちに生まれた我が子が来年小学校に入学するので、この機会をありがたく参加させていただきます。こうして安心して子育て、今回のように企画も子供むけに考えてくださってありがたいです。こうして笑っていただけるのは、コヨットのお蔭といっても過言ではありません。」



会津東山グランドホテル 最後の企画となりました 赤べこ絵付け体験 ～1/27-28～

7家族、13名の子どもたちが参加しました。未就学児が10名と多く、絵付けできるか心配でしたが、赤、白、黒べこなど個性的に仕上げていました。

今回で東山グランドホテルの企画は終了となりました。2018年度は小学生を中心とした企画として、開催場所を変更して行うことを検討しています。





仙台キリンビール工場見学、仙台うみの杜水族館と松島散策 ～2/17 宮城県～

日帰り企画に13家族小学生18名が参加しました。

まず、仙台港にあるキリンビール工場見学を行いました。工場ガイドさんの案内で、麦芽を試食し、ホップの香りを嗅いで、麦汁の一番搾りと二番搾り（ノンアルコール）の飲み比べを行いながら大人も子どもも大きな工場の中を楽しんで見学しました。

二番目は松島まで移動して、ホテルのランチバイキングです。寿司、海鮮丼、焼魚、サラダ、デザート、アイスクリームなどでお腹を満たしました。その後、松島海岸の名所やお店を家族ごとに散策しました。

三番目は、「仙台うみの杜水族館」を見学しました。大きな水槽で泳ぐいろいろな魚を見て、アシカとイルカショーを楽しみました。道中、雪が降ったりやんだり。寒い季節の親子ツアーとなりましたが、それぞれの楽しい家族の思い出を作ることができました。



ランチバイキング・ホテル
松島大観荘からみた松島湾



「県外受入企画説明会」～2/22 東京・渋谷 コーププラザ 4F 会議室～

福島県生協連主催による今年の夏に受入企画を検討している生協を対象とした説明会を開催しました。11生協から担当者が参加しました。初めにNPO法人国際自然大学校の佐藤繁一事務局長から「体験型組合員活動における安全管理」と題して講演をしていただきました。「事故はまさかで起きる」ことを実際の事故事例から説明していただきました。体験型企画で必要とされる「傷害保険」「損害賠償責任保険」についてどのような適応事例となるかを確認し、また一定のリスク告知を伴う「参加同意書」について内容事例を紹介していただきました。

次に、福島県生協連佐藤専務からまもなく7年目を迎える福島の現状とコヨット！の活動の様子について報告しました。

昨年の受入企画事例は、ならコープCSR組織広報部上床さんより報告していただきました。最後に、コヨット！事務局の根本さん、組合員活動部住吉から2018年度テーマと企画にあたっての注意事項をお願いして説明会を終了しました。2018年度も県外受入企画が、子どもたちにとって楽しく、安全に企画運営されることを願っています。



7年目を迎える福島の現状を報告する佐藤専務

発行

日本生協連 組織推進本部 組合員活動部
電話 03-5778-8124 Fax 03-5778-8125

担当

住吉、小池